

浜松湖北高生が企業取材

中区ブログなどで魅力発信へ

浜松市北区の県立浜松市立高（同市中区）と松湖北高商業科の3年生が12日、市内の企業を訪問し、仕事内容やその企業ならではの魅力を掘り起こす取材活動を行った。総合エネルギー会社「エネカ」を訪問した6人は、「この会社には驚きがある」と話した。同社の市川浩一社長が一つ一つに回答し、生徒らは真剣な表情で聞き入り、懸命にメモを取った。

建設現場も見学し、やりがいや工事の行程などを作業員に積極的に質問した。今後は取材内容を元に記事を執筆し、7月中旬にブログや紙媒体で発信していく。中村郁斗さん(17)は「重機のしくみや社内の雰囲気など、取材を通してさまざまなことを知ることができた。見た人が良かったと思うような分かりやすい記事を作りたい」と話した。



建設現場を訪れ、取材活動する生徒ら
＝浜松市中区

事の中で大変だったことは」など、事前に質問事項を考えて取材に臨んだ。同社の市川浩一社長が一つ一つに回答し、生徒らは真剣な表情で聞き入り、懸命にメモを取った。